令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名	美術博物館プラネタリウム運営事業	課等No.	54	事業No.	300
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田市民及び下伊那郡住民
	意図	ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気付き、地域を大切にする心を育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	・デジタルプラネタリウムの活用をすすめるため、魅力的な「多目的利用」を検討する必要があります。 ・予約投影の利用をすすめるため、幼小中学校向け「学習投影」の新たな取り組みを検討する必要があります。 ・「飯田・宇宙教育」での地域連携の取り組みが一部地域にとどまっているため、市全域へ広げる必要があります。 ・デジタルプラネタリウム設置後9年が経過し、経年劣化（暗い、コントラストが低い、動画再生能力の悪化等）が著しいため、投影機器を更新する必要があります。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・プラネタリウムでは、東京オリンピックや観光など新たな分野における多目的利用について検討し、活用の幅を広げます。 ・「学習投影」では、幼・小・中学校向けの学習番組を導入し、理科学習でのプラネタリウム利用や出前宇宙授業を提案します。 ・「飯田・宇宙教育」では、宇宙天文のすそ野を広げるため、地域と連携した星空観望会等を各地で行います。 ・「飯田天文ネットワーク」の活動として定期的な例会や勉強会を行い、市民メンバーを増やしながら主催事業を行います。 ・プラネタリウムでは、注目の“火星接近”や“小惑星探査機はやぶさ2の地球帰還”に関連して、「太陽系」をメインテーマに、客層に応じた特別投影や宇宙イベントを行います。 ・プラネタリウム機器更新の検討と準備を行います。	一般番組制作（委託）	3,960
	学習番組制作（委託）	2,200
	プラネタリウムチラシなど（印刷）	762
	東京五輪での多目的利用(保安員含む)	3,989
	飯田・宇宙教育事業	457
	協議会・研修関係（旅費）	157
	機器保守管理費・修繕料	722
	著作権料・事務・管理費・消耗品費	793
	会計年度任用職員	3,244
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
プラネタリウム観覧者数	人	17,000	13,497	13,000	12,471	14,000		18,000	
プラネタリウム投影回数	回	1,000	858	800	786	800		800	
ドームイベント回数	回	10	11	10	11	12		12	
オリジナル番組制作数	本	1	1	1	1	0		0	
宇宙天文教育回数（観望会・館外活動）	回	10	16	10	16	15		20	
飯田天文ネットワーク活動回数	回							12	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	16,284	（そ）美術博物館観覧料　1,100千円 （そ）ふるさと寄附金　1,500千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	2,600	
一般財源	13,684	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	12,582 0	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	3,702 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								